2024年 ねじめ正一氏 選

高岡山町筋土蔵造りフェスタ協賛

第21回 高岡・山町 ポエム大賞

作品募集
全国公募

「高岡・山町ポエム大賞」は、第21回を迎えました。今年も山町ゆかりの詩人、ねじめ正一さんが選者を務めます。みなさんの力作、自信作をお待ちしています。

絵／北山知絵子さん

第20回ポエム大賞・北日本新聞社賞受賞作品

贈り物

錦城高等学校2年 加納 奈央 さん

私はいつも贈り物を食べる
綺麗な包装紙、きらびやかなラッピング
そして何よりあふれ出る
〈君を愛す〉のメッセージ
宛名に押された唇が、私への想い唄ってる
たくさんの箱に囲まれて
幸せと苦の紙一重
舌に解ける味を診る

乳雀の羽が飛び出した
綺麗な箱のホワイトポンポン
一粒舌で転がした
甘い、甘い、甘ったるい
浮つくような飾られた言葉、
〈体が欲しい〉の下劣な右手
求める味ではないみたい

白銀の糸で縛られた
キラキラ輝くミカンの甘露煮
シロップ漬けに期待して
ひと房じゅわりと噛みついた
苦くてピリピリ、毒の味
仲良くしようのおべっかは、
〈お前を堕とす〉の宣戦布告
求める刺激じゃないみたい

頭の上で星々が、間抜け間抜けと嘲笑う

今度は私に冠を、
花びらあしらうレースのお皿
ガレット・デ・ロワを手渡され、
主役は君だと絆される
一切れのフェーヴ期待して、
断面に見えるフランジパーヌ
しっとりサクサク、ガラスの固み
特別の意味は〈単純でちょろい〉、
裏切り者の悪魔の笑み
求める食感じゃないみたい

周りに散らばるラッピング、
びりびりに破った包装紙
私の舌を血で染めて
今日も彼らはほくそ笑む
誰もが持ってる郵便受けに、
なんとはなしの宅配便
そのきらびやかな見目に騙されて、
今日も雛、エサに手を伸ばす

夜の帳は目を消して、
ぬくもりひとつをただ残す
震えるように口にした、
あの日の味は忘れない
あの後ごみに捨てられた、
宛名にあるのは私の名
アイラブユーも何もなし、
だけれど味は最上級
あの日のあなたの素朴さが、
〈そのままでいい〉の一言が、
きっと求めた味だった

応募規定

資格 全国の小・中・高校生（個人、団体どちらでも可。18歳以下）

募集作品 未発表の詩で1人2編まで。題材は自由。家族や日常生活、学校生活、恋や夢、高岡や山町について書いたものなど、自由なテーマでお書きください。
※本大会への応募作は他の公募型コンクールへ応募できません。
※応募作品の著作権は主催者に帰属します。

書き方 400字詰め原稿用紙3枚以内。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を明記する。

応募方法 郵送・FAX・HPで下記宛先にご応募ください。
〒933-0911 富山県高岡市あわら町13-50
北日本新聞社西部本社「ポエム大賞」係
TEL.0766-22-2226　FAX.0766-25-7775
HP　kitanippon.info/takaoka/yamacho-poem/

締め切り 2024年 9月12日㈭ 必着

表彰式 入賞作品講評会（予定）

日時
11月24日㈰ 午後1時（予定）

会場
富山銀行本店 BOTホール
富山県高岡市下関町3-1 TEL.0766-21-3535

講師 ねじめ 正一 氏

1948年東京都生まれ。81年、処女詩集「ふ」で詩壇の芥川賞といわれるH氏賞受賞。89年、小説「高円寺純情商店街」で直木賞受賞。2004年、絵本「まいごのことり」でひろすけ童話賞受賞。08年、小説「荒地の恋」で中央公論文芸賞受賞。著書に「認知の母にキッスされ」「むーさんの自転車」「みどりとなずな」など。

発表 大賞、富山銀行賞、最優秀賞、優秀賞の作品は11月下旬、北日本新聞に掲載されます。

賞
大賞・北日本新聞社賞 1点（図書カード3万円分）
富山銀行賞 1点（図書カード1万円分）
小・中・高校で最優秀賞各 1点（図書カード1万円分）
優秀賞各2点（図書カード5千円分）
佳作各5点、奨励賞、学校賞

熱心に取り組んでいただいた学校に学校賞を贈ります。

◆主催 「高岡・山町ポエム大賞」実行委員会
（富山銀行、土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会、まちづくり会社・末広開発、北日本新聞社）
◆後援 富山県教育委員会・高岡市教育委員会・高岡商工会議所

▶詳しくはHPをご覧ください
山町ポエム

■お問い合わせ
北日本新聞社西部本社
高岡事業部 TEL.0766-22-2226